

新たな収入源としての

付帯サービスの現状と今後の課題

2015年以降の米国ネットワークキャリアの高収益要因として、燃料費の低下とともに、受託手荷物や機内食の有料化といった付帯収入拡大への取組みが挙げられます。

LCCとの価格競争などを背景に、これまで無料で提供してきたサービスを分離し、運賃とは別に料金を徴収し始めた動きに賛否両論がある中で、近年はWi-Fi接続などの新しい技術や、従来はFFP会員客向けであった座席アップグレードなど、新たに商品化されるサービスも登場しています。

米国ワシントンで定点観測する米国旅客航空企業の動向とともに、豊富なデータから分析した詳細版レポートです。

判型等：A4判 フルカラー 180ページ

価格：税込1,620円（本体1,500円＋税）

アメリカ航空産業の現状と今後の展望

～米国航空産業の最新動向及び新たな収入源

としての付帯サービスの現状と今後の課題～

平成28年11月

一般財団法人 運輸総合研究所

※本紙にて当研究所へFAXでお申込の場合は、

10%引の1,458円(税込)で提供します（本体1,350円＋税）

※税込送料は1冊350円、2冊520円、3～4冊630円です。

（離島等は異なる場合があります。）

（切り取らずに、このまま送信して下さい）

FAX 03-5470-8411

運輸総合研究所 出版グループ TEL 03-5470-8410 東京都港区虎ノ門3-18-19

「新たな収入源としての付帯サービスの現状と今後の課題」お申込書

部数	冊	送信日	平成	年	月	日
法人名						
送付先	〒 (法人のお客様には請求書払いにも対応します。記載事項などにご指定がある場合はお書き添え下さい。)					
ご担当	部門・役職	TEL				
	氏名	FAX				
	メールアドレス					

ご記入頂いた個人情報は、当研究所の発行図書やイベント等のご案内に利用させて頂く場合があります。

（一財）運輸総合研究所は、日本財団からの助成金を受けて活動しています。 <2016-12 WEB>